

ミャンマー学校開校式および交流会

1. 概要・目的

ミャンマー連邦共和国では、学校数が不足し、子どもたちはしっかり勉強する機会に恵まれていないことから、子どもたちにもっと学びやすい環境を提供するため、アドラ・ジャパンとの協働に基づき、2016年から向こう3年間で20校の学校建設を開始しました。今般、2年目の建設が終了したのを機に、ヤンゴン管区において学校開校式及び交流会を実施しました。

当日は、イオンオレンジ（株）から約40名のスタッフが参加しました。同開校式には、トゥワンティ内の2校（タワポスト小学校、ミャーカンター小学校）の子どもたちも参加し、開校を祝いました。また、交流会には、歌手・女優の由紀さおり様と声楽家の安田祥子様ご姉妹、このイベントに合わせた日本からのツアー参加者の方々がいくつかのグループに分かれ、現地の子どもたちと歌や折り紙、縄跳び等を通して交流を深めました。

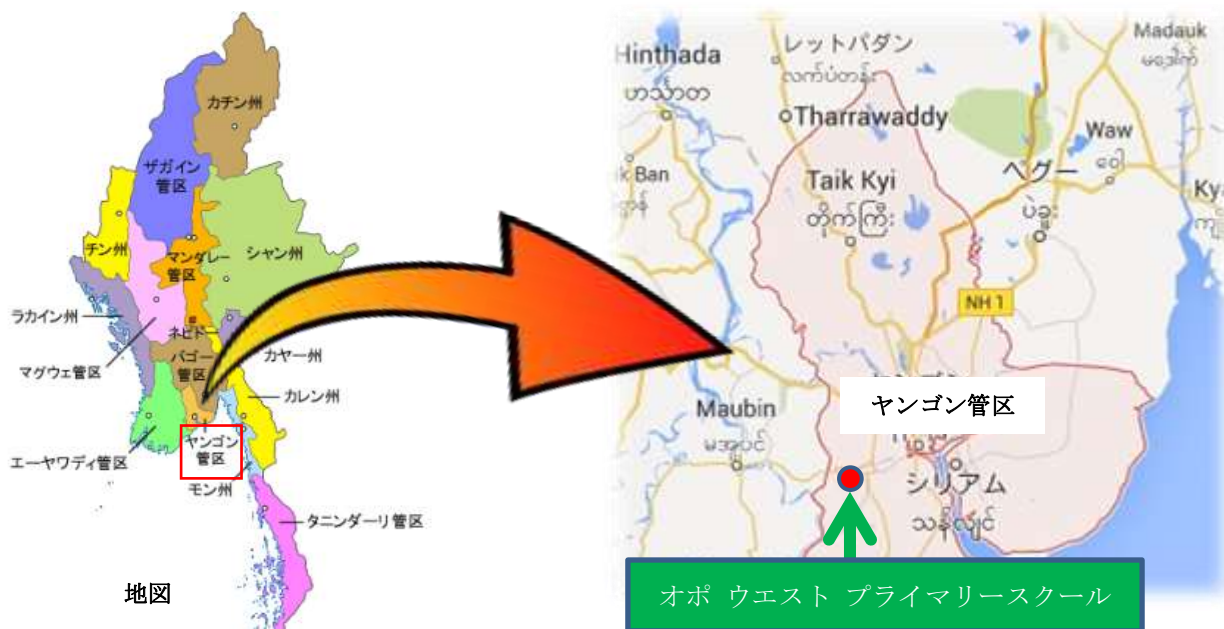
2. 内容

学校名：オポ ウェスト プライマリースクール

場 所：ヤンゴン管区（トゥワンティ）

時 間：3月29日（木） 10:00～12:00

参加者合計：約300人（内、日本から約30人）



3. 主な参加者

ミャンマー商工会議所 会頭 ゾウ・ミン・ウイン 様
在ミャンマー連邦共和国日本国大使館 書記官 藤原 尚子 様
ミャンマー教育省 ヤンゴン管区 南区教育局 教育官 セイン・ウイン 様
ミャンマー教育省 トゥワンテイタウンシップ教育局 教育官 スウエ・トゥラ 様
ミャンマー教育省 トゥワンテイタウンシップ教育局 副教育官 アエ・アエ・モウ 様
オポ ウエスト プライマリースクール 校長 レイ・レイ・ナイン 様
タワポスト プライマリースクール 校長 チョウ・マー・トウエ 様
ミャーカンター プライマリースクール 校長 ソウ・サム・アエ 様
歌手・女優 由紀 さおり 様、声楽家 安田 祥子 様
加藤憲ホールディングス株式会社 取締役会長 加藤 順造 様、令夫人
特定非営利活動法人 アドラ・ジャパン 理事 橋本 笙子 様
日本からの一般参加者 約 30 名
イオンアジア 代表取締役社長 鷺澤 忍
イオンオレンジ株式会社 代表取締役社長 川戸 義満
イオンマイクロファイナンスミャンマー 代表取締役社長 木坂 有朗

4. 協力

在日ミャンマー連邦共和国大使館
在ミャンマー連邦共和国日本国大使館
ミャンマー連邦共和国教育省
特定非営利活動法人 アドラ・ジャパン
加藤憲ホールディングス(株)、イオンモール(株)
(株)メガスポーツ(スポーツオーソリティ)
在ミャンマー イオン各社

5. 学校開校式の様子

オポ ウエスト プライマリースクール (3月29日 実施)



↑旧校舎



↑新校舎



↑学校のネームプレート

【開校式】



↑現地子どもたちに迎えられる日本からの参加者



↑伝統舞踊で参加者を歓迎する現地子どもたち

(挨拶より抜粋)

学校といった 教育施設を始め、建物や橋、道路が、日本とミャンマーの友好関係の証としてミャンマー各地に生まれています。このオポ ウェスト プライマリースクールもその一つとして本日開校を迎えたことを大変うれしく思います。

児童のみなさん、本日から始まる新しい校舎での学校生活を大いに楽しんでください。勉強や友達関係のことで悩んだ日には新しい校舎で学べる「ワクワク、ドキドキ」した今日の気持ちを思い出してください。みなさんの描く「夢のある未来」を応援しています。



↑在ミャンマー日本国大使館 書記官
藤原 尚子 様によるご挨拶

(挨拶より抜粋)

ミャンマーでは、国の教育システムを改善しながら、教育分野に力を入れています。教育施設の充実を図る上で、これまでに 35 校の小学校の建設を支援していただきました。2017年～2019年の3年間で20校の建設を予定しており、今回新たにオポウエスト校を含む 7 校の開校が実現し、160 名以上の生徒が勉強できると聞いて大変嬉しく思っています。



↑ミャンマー商工会議所 会頭
ゾウ・ミン・ウイン 様によるご挨拶



↑テープカットの様子

(前から2列目左から、アドラ・ジャパン 理事 橋本 笙子 様、ミャンマー教育省 ヤンゴン管区 南区教育局 教育官 セイン・ウイン 様、ミャンマー商工会議所 会頭 ゾウ・ミン・ウイン 様、
当財団 理事長 横尾 博、イオンアジア 鷺澤社長、加藤憲ホールディングス株式会社 取締役会長 加藤 順造 様、3列目左から、ミャンマー教育省 トゥワンテイタウンシップ教育局 副教育官
アエ・アエ・モウ 様、オポ ウェスト校 校長 レイ・レイ・ナイン 様、ミャンマー教育省 トゥワンテイタウンシップ教育局 教育官 スウエ・トゥラ 様、
在ミャンマー連邦共和国日本国大使館 書記官 藤原 尚子 様、タワポスト校 校長 チョウ・マー・トウエ 様、ゾウ会頭夫人、加藤会長夫人)



↑開校式の様子



↑由紀さおり様・安田祥子様 姉妹、開校式参加者と一緒に「ソレアード」を歌うミャンマー語で歌う子どもたち



↑学校へ文房具、スポーツ用品の贈呈



↑開校式に参加した子どもたち

【交流会】



↑ミャンマーの子どもたちに折り紙を教える日本からの参加者



↑日本からの参加者とサッカーをするミャンマーの子どもたち

↑日本からの参加者と一緒にバドミントンをするミャンマーの子どもたち



↑日本からの参加者と一緒に縄跳びをするミャンマーの子どもたち



↑新校舎の教室で歌の練習をするミャンマーの子どもたち

【参加者の感想】

ミャンマーの子どもたちに笑顔で迎えられるとても嬉しかったです。言葉が通じないことが多かったけれど、ジェスチャーなどで通じ合うことができました。

藤女子中学校・高等学校 中学部 1年

英語が通じず、最初は不安になりましたが、ジェスチャーなどで心が通じ、笑顔でいれば相手も笑ってくれて楽しく交流ができました。言葉以上に表情が大事だと感じました。

私たちの学校でも東南アジアを中心に色々な活動をしています。小学校の教育については、文具を寄付する程度で、直接交流を持ったのは今回が初めてでした。今回経験した現地での教育の現状や子どもたちの様子を伝えていきたいです。

筑波大学附属坂戸高等学校 2年

(日本 インドネシアティーンエイジ アンバサダー参加者)

開校式には多くの人が集まっていて、学校建設が本当に必要とされていることや、日本人の珍しさを感じられました。子どもたちは思ったよりシャイでしたが、縄跳びを一諸にやろうとジェスチャーで伝えてくれて嬉しかったです。ミャンマーを訪問したのは初めてでした。生活水準の違いを見て、日本は国を超えて支援をする必要があると感じました。

筑波大学附属高等学校 1年

(日本 中国ティーンエイジ アンバサダー参加者)

ミャンマーの人たちの真面目な人柄を見ることができました。また、気さくな人が多く、私たちに優しくしてくれることが幾度となくあって、とても心温まる思いを持ってました。

生活レベルの違いを見て、自分は恵まれた環境にいることを再認識しました。もっとミャンマーやその周辺の国々への理解を深めていきたいと感じました。

札幌日本大学高等学校 2年

ミャンマーの子どもたちが笑顔で迎えてくれてとても嬉しかったです。子どもたちのダンスも観ることができてよかったです。ミャンマーを訪問して、改めて国の大きな違いに驚きました。普段当たり前と思うことが他の国では贅沢であり、自分のいる環境のありがたさを感じました。

鹿島高等学校 1年

人々の生活について、日本の水準とは大きく違うことがよくわかりました。ミャンマーの人たちは皆笑顔で接してくれ、優しさと文化のすばらしさを感じました。積極的な姿を見習わなければと思いました。

浦和実業学高等学校 1年

歌の交流会では、ミャンマーにはない三拍子のレッスンをみて文化の違いを感じました。生活水準は違いますが、ミャンマーの子どもたちは、日本の子どもたちと何も変わらないと思いました。

浦和明の星女子高等学校 1年